

平成28年度 第1回日本科学教育学会研究会(北陸甲信越支部開催)プログラム

[テーマ] 科学教育の充実をめざして

[日 時] 平成28年12月3日 (土)10:00～16:00

[会 場] 富山大学人間発達科学部

[日 程]

10:00～10:30 受付
10:30～10:40 開会
10:40～12:00 研究発表(午前の部)
12:00～13:20 昼食・休憩
13:20～14:20 研究発表(午後の部前半)
14:20～14:30 休憩
14:30～15:30 研究発表(午後の部後半)
15:30 終了

座長 土井徹(富山大学)

A01 10:40～11:00 理科の学習に苦手意識を持っている児童とそうでない児童の『学び合い』における会話の特徴に関する研究
○浅野敏章(信州大学)・青木幹昌(倉賀野小学校)・三崎隆(信州大学)

A02 11:00～11:20 小学校理科の『学び合い』の授業において理科の塾に通っている児童とそうでない児童の理科の授業に対する意識についての研究
○田中沙和(信州大学)・青木幹昌(倉賀野小学校)・三崎隆(信州大学)

A03 11:20～11:40 『学び合い』の理科の授業において、理科における性差を感じている児童と理科における性差を感じていない児童の会話ケースの分析
○山口美貴(信州大学)・青木幹昌(倉賀野小学校)・三崎隆(信州大学)

A04 11:40～12:00 自然界のつり合いの理解を促す生態系シミュレーション教材の開発と評価
○佐々木郁(上越教育大学)・桐生徹(上越教育大学)

12:00～13:20 昼食・休憩

座長 三崎隆(信州大学)

A05 13:20～13:40 立体的な磁力線をイメージするためのAR教材の開発
○田村領太(上越教育大学)・桐生徹(上越教育大学)・中野博幸(上越教育大学)・小松祐貴(上越市立春日中学校)・久保田善彦(宇都宮大学)

A06 13:40～14:00 数学的モデリングの指導における複数の学年にまたがる「再モデル化」のための教材開発実践例
○竺沙敏彦(京都府城陽市立南城陽中学校)

A07 14:00～14:20 アクティブ・ラーニングにおける同期型CSCL で学習状況を可視化した環境での教師の言動の傾向性に関する事例的研究
○榊原範久(上越教育大学教職大学院)・水落芳明(上越教育大学教職大学院)・八代一浩(山梨県立大学)・水越一貴(株式会社デジタルアライアンス)

14:20～14:30 休憩

座長 桐生徹(上越教育大学)

A08 14:30～14:50 授業者の学級全体への声かけと学修者の学習意欲の関連に関する事例的研究
○若田翔暉(上越教育大学教職大学院)・岸亮(上越教育大学教職大学院)・水落芳明(上越教育大学教職大学院)

A09 14:50～15:10 理科学習と日常生活の関連に関する事例的研究ー小学3年「明かりをつけよう」の実践を通してー
○木谷眞優(上越教育大学)・岸亮(上越教育大学教職大学院)・水落芳明(上越教育大学教職大学院)

A10 15:10～15:30 顕微鏡の操作技能における自作ビデオクリップ活用による相互評価の効果に関する事例的研究
○岸亮(上越教育大学教職大学院)・水落芳明(上越教育大学教職大学院)